

南関東防衛局

鋤先 幸浩

(すきさきゆきひろ)

企画部長

- 厚木飛行場周辺住民に日頃から様々なご負担をおかけしていることは、国として十分に認識している。
- 今回の着陸訓練は、昨年 11 月に空母が入港して、約5ヶ月が経過し、空母着艦に必要な技量及び資格取得の必要が生じたため、実施することになったと理解している。
- すでに、南関東防衛局から在日米海軍司令部に対し、また、防衛本省から在日米軍司令部に対し、可能な限り訓練を硫黄島で実施すること及び厚木飛行場周辺における飛行について、周辺住民へ十分な配慮をするよう要請した。
- 米側は、極力、硫黄島ですべての訓練を終わらせる意向と承知している。
- 防衛省としては、厚木飛行場周辺の騒音軽減対策に引き続き取り組んでいく。